

取付説明書

アルパイン リアビジョン取付キット

車種	年式	型式
フォレスター	H24/12 ~ H30/6	SJ系

平成31年1月現在

ここでの説明は、固定用ブラケットの装着方法に限らせていただきます。モニターケーブルや電源の配線方法・場所についての説明は、アルパイン製 10.1/10.2 型リアビジョンの取扱説明書をご参照ください。

1. 構成部品

No.	部品名称	数量	部品図
①	ブラケットA	1	
②	ブラケットB	1	
③	ルームランプ変換コード	1	
④	トリムリング	1	
⑤	モール	1	
⑥	なべ小ねじ (M5×12)	2	
⑦	六角ボルト (M5×10)	2	
⑧	タイラップバンド (200mm)	5	
⑨	タイラップバンド (100mm)	10	
⑩	クッションテープ (75×250×T2)	3	
⑪	型紙 (A3)	1	
⑫	スペーサー	4	
⑬	リアビジョン用映像変換ケーブル	1	

③はルームランプ内蔵リアビジョンの取り付け時のみ使用します。
⑬は組み合わせるリアビジョンによって使用します。

※カットして使用します。

2. 使用工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、8・10mm レンチ、トルクレンチ、プライヤー、はさみ、ニッパー、カッターナイフ、セロテープ、マスキングテープ、保護メガネ、保護手袋

3. 安全に正しくお使いいただくために

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

コード類は運転の妨げにならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



本製品に装着された液晶 TV にぶら下がったりしないでください。事故・破損の原因になります。



禁止

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。
感電・ケガの原因になります。



急発進・急停車等での事故防止のため、後部座席に乗車する際は必ずシートベルトを着用してください。事故・ケガの原因になります。



強制 禁止

本製品には指定の液晶 TV 以外のものを装着したり、本来の目的以外の使用はおやめください。
事故・破損の原因になります。



禁止

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。画面を見る場合や、操作を行う場合は、安全な場所に停車してください。



強制 禁止

音がでない、映像が映らない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



強制 禁止

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
---	--

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やほこりの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起物に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



この商品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止に内装に密着させて固定する仕様になっています。取り外した後、内装に装着跡が残ることがあります。



付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



禁止

取り付け、配線には、専門技術と経験が必要になります。お買い上げ店に依頼頂く事をお勧め致します。



しばらく走行したのち各部のねじ等の緩みがないか確認してください。事故・ケガ・故障の原因になります。



説明書に従って、加工を行ってください。説明書の指示を守らなかったことによる車両部品の破損・ケガ等に対して、当社は責任を負いかねます。



車以外には使わないでください。
故障・感電・ケガの原因になります。

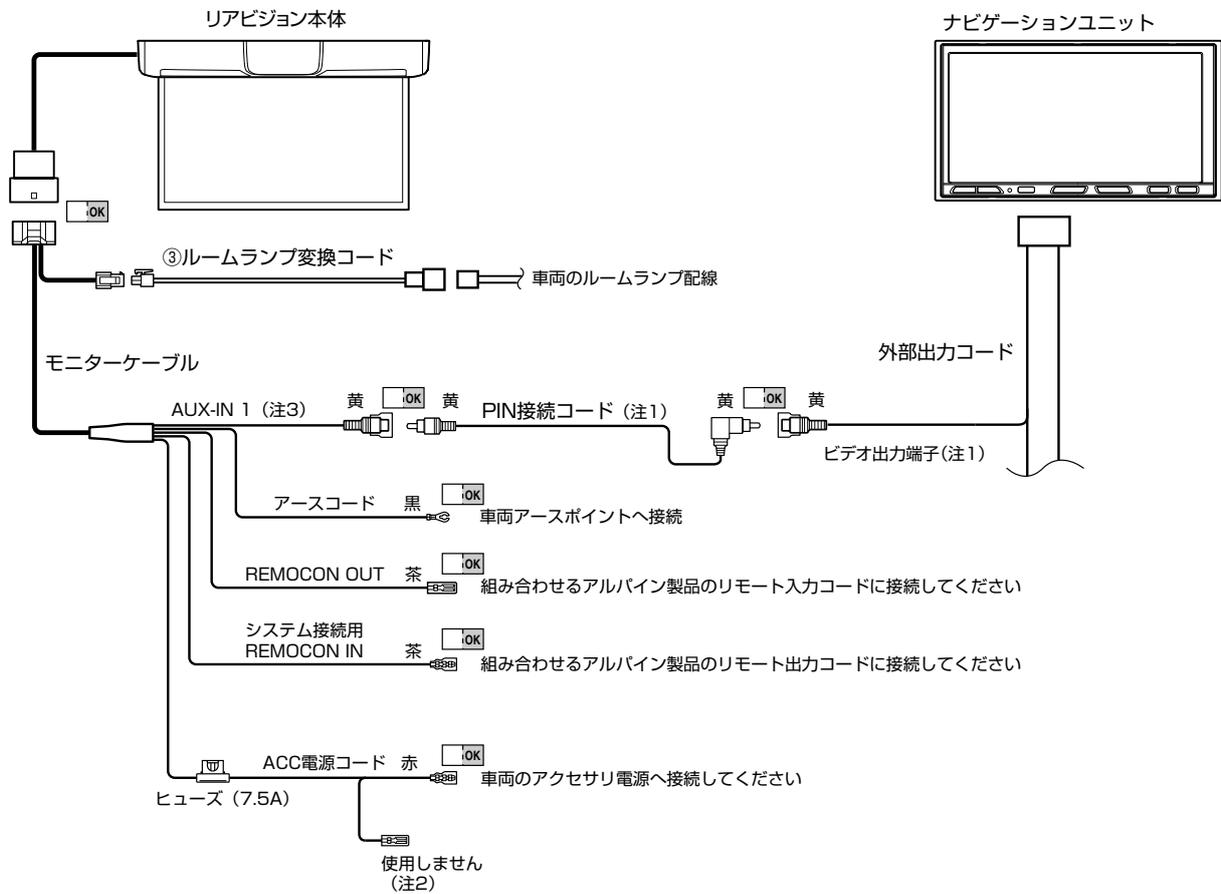


禁止

電動ドライバーの使用を禁止します。	
電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。	禁止

4. 配線図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに OK に ✓ 点をつけてください)

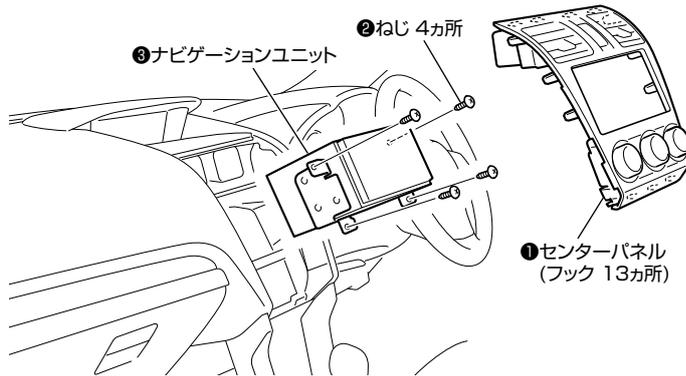


- 注1 PIN 接続コードはナビゲーションユニットのビデオ出力端子（外部出力）に接続します。詳細は接続するナビゲーションユニットの取付説明書を参照してください。
- 注2 使用しないコネクタは束ねて⑩クッションテープを巻いてください。
- 注3 組み合わせるアルパイン製リアビジョンによってはリアビジョン用映像変換ケーブルを使用してください。詳しくはリアビジョンの取扱説明書も合わせて参照してください。

5. 取付要領

作業を始める前にバッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

車両部品の取り外し



1. 左図の内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

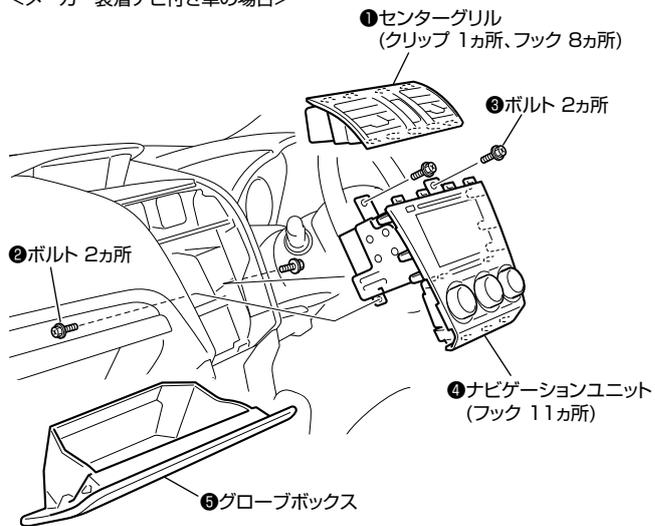
⚠ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- ねじの紛失にご注意ください。

ポイント

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

<メーカー装着ナビ付き車の場合>



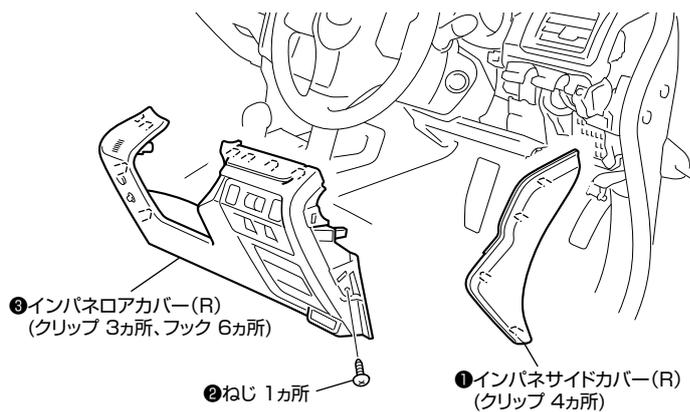
2. 左図の内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

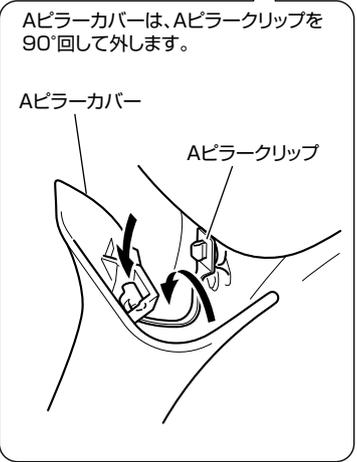
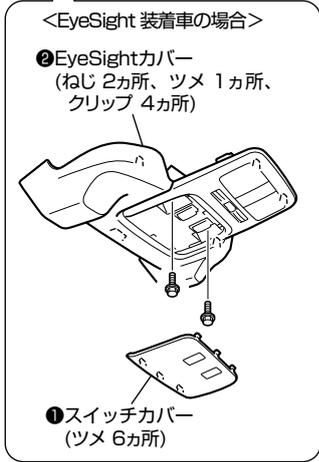
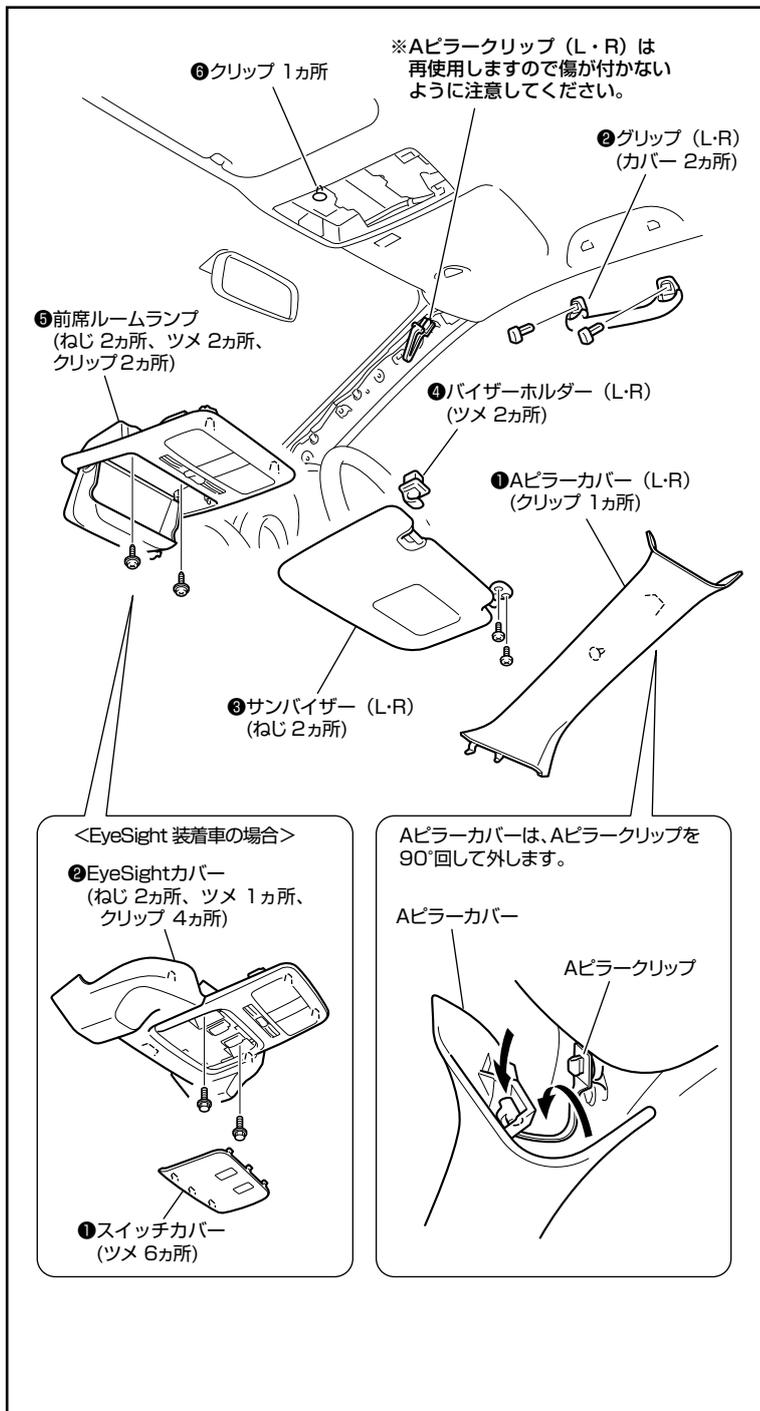
⚠ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
- ねじの紛失にご注意ください。

ポイント

各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



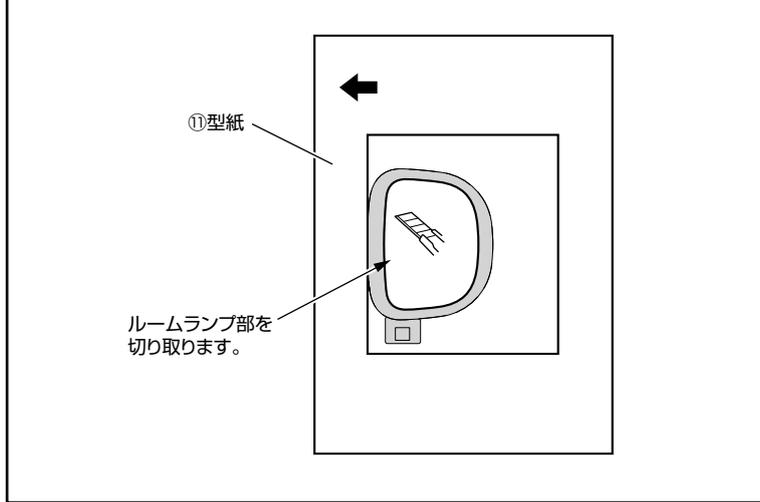


3. 左図の内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。
4. Aピラーカバー、グリップ、サンバイザー、バイザーホルダー、Aピラークリップは左右を外してください。

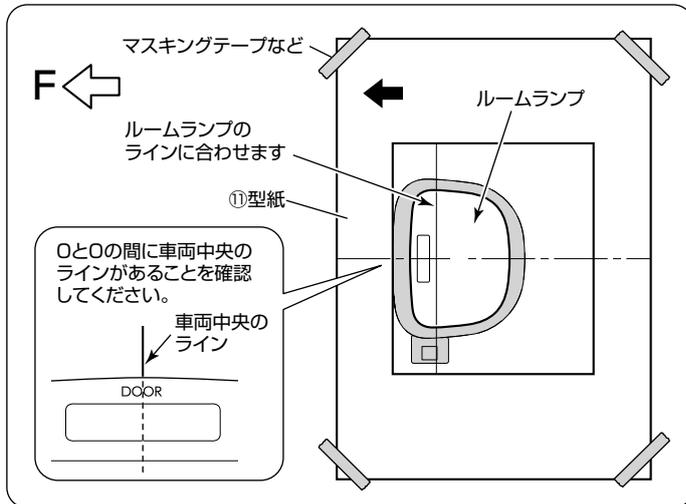
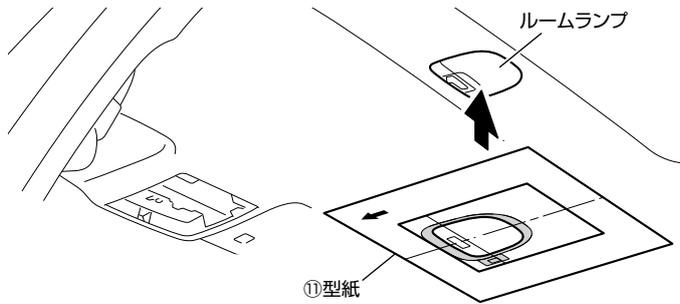
- ⚠ 注意**
- Aピラークリップはプライヤーなどを使用してつかまないでください。クリップはそのまま再使用しますので、傷が付かないように注意してください。
 - Aピラークリップを車両から取り外した場合や傷が付いた場合は、必ず新品のクリップに交換してください。
 - キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
 - ねじの紛失にご注意ください。
 - 前席ルームランプをもとに戻すときは、ルーフトリムとの間にすき間がないように取り付けてください。
 - EyeSightカバーを取り外す際は、カメラレンズへの干渉を防ぐため、マスキングテープなどの粘着力の弱い保護テープを貼り付けてから作業を行ってください。また、傷付き防止のためルームミラーを下げた状態にして作業を行ってください。
 - EyeSightカバーのコネクターを外す際は、ハーネスを無理に引っ張らずコネクターを持って外してください。
 - 左右のカメラ部を持たないでください。また、レンズに触れないように注意してください。
 - ステレオカメラに衝撃を与えないでください。(わずかな衝撃でもカメラの光軸がずれて、正常な作動ができなくなります。)

- ポイント**
- 各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

ルーフトリムの穴あけ加工



1. ①型紙のルームランプ部を切り取ります。



2. ①型紙をルームランプに合わせ、マス킹テープでルーフトリムに固定します。

注意

①型紙の前後を間違わないようにしてください。

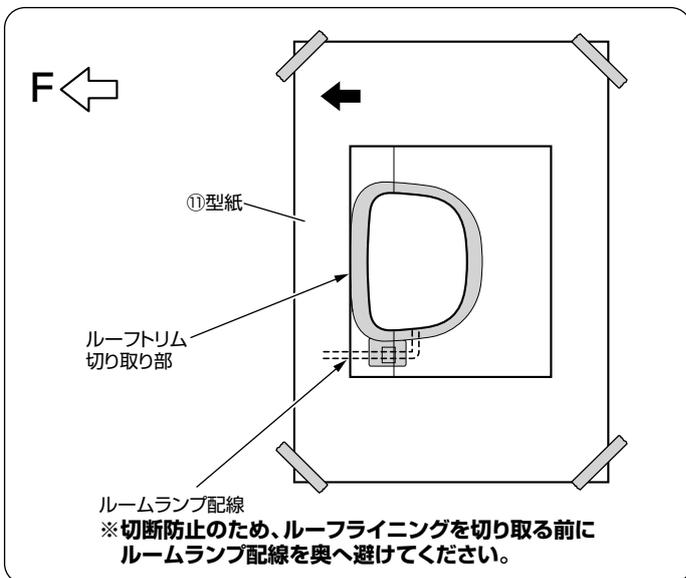
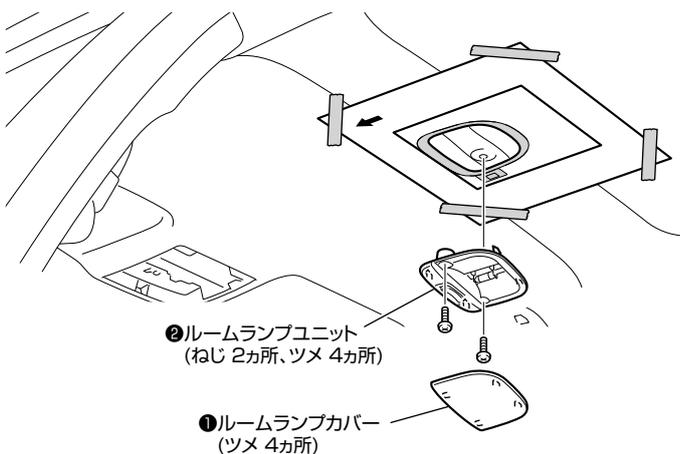
3. 車両中央のルームランプを取り外します。番号順に取り外してください。

注意

- キズ防止のため、要所をマス킹テープなどで保護してください。
- ねじの紛失にご注意ください。

ポイント

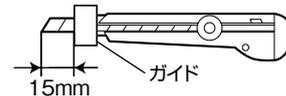
- ルームランプは再使用しませんので、キズがつかないようにビニールなどに入れてお客様にお渡しください。
- 取り外しには、クリップはずしを使用します。



4. ①型紙に合わせ、カッターでルーフトリムを切り取ります。

注意

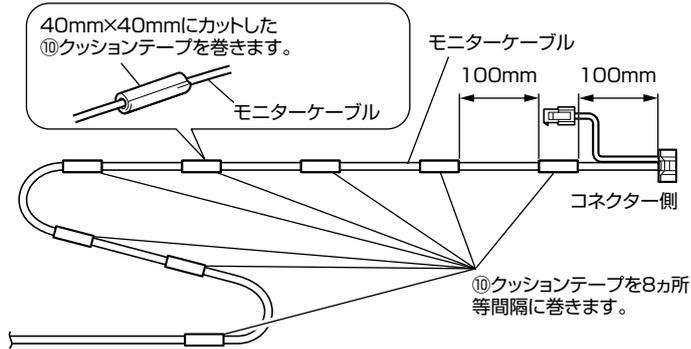
- ルーフトリム内部の傷付け防止のため、カッターの刃を15mm出した後、マス킹テープなどでガイドを作成し、切り取ってください。



- ルームランプの配線を切断しないように注意してください。
- 保護メガネ、保護手袋を着用し、刃物の取り扱いに注意してください。

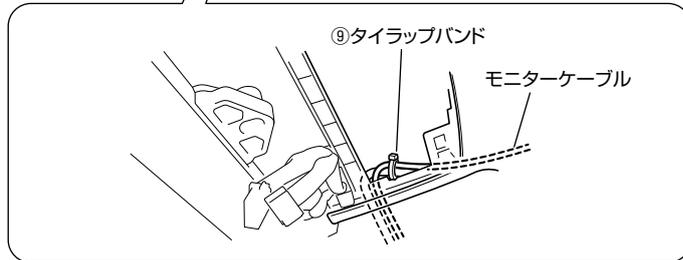
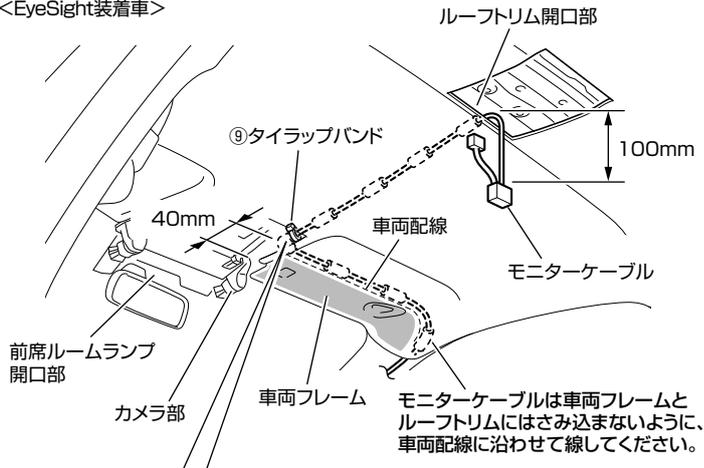
各ケーブルの配線

※配線の形状は接続するリアビジョンによって異なります。詳細は各製品の取扱説明書をあわせて参照してください。



1. 異音防止のため、モニターケーブルに⑩クッションテープを巻きます。

<EyeSight装着車>



2. モニターケーブルのコネクター側を、前席ルームランプ開口部からルーフトリム開口部まで配線します。
3. モニターケーブルのビデオ端子側を、前席ルームランプ開口部から運転席側Aピラー部まで、左図の位置に配線します。

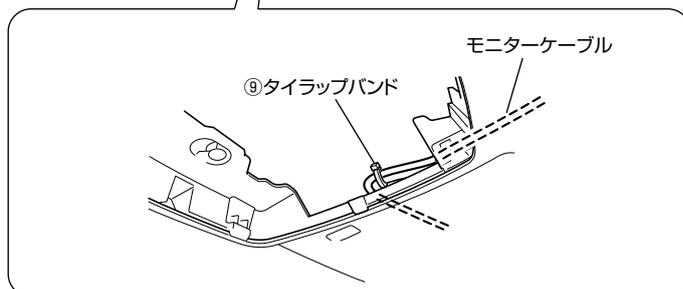
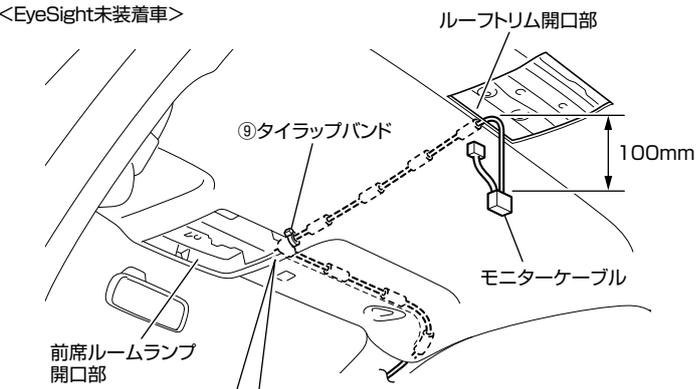
⚠ 注意

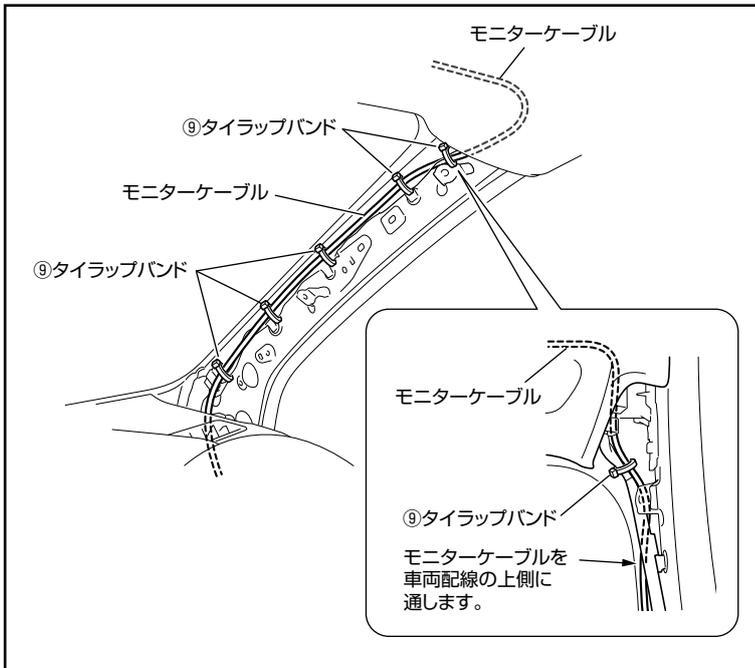
- ルーフトリムに、しわがよらないようにご注意ください。
- EyeSight装着車は、カメラ部から40mm程度離してモニターケーブルを配線してください。
- 左右のカメラ部を持たないでください。また、レンズに触れないように注意してください。
- ステレオカメラに衝撃を与えないでください。(わずかな衝撃でもカメラの光軸がずれて、正常な作動ができなくなります。)

ポイント

ルーフトリム開口部からモニターケーブルを100mm程度出してください。

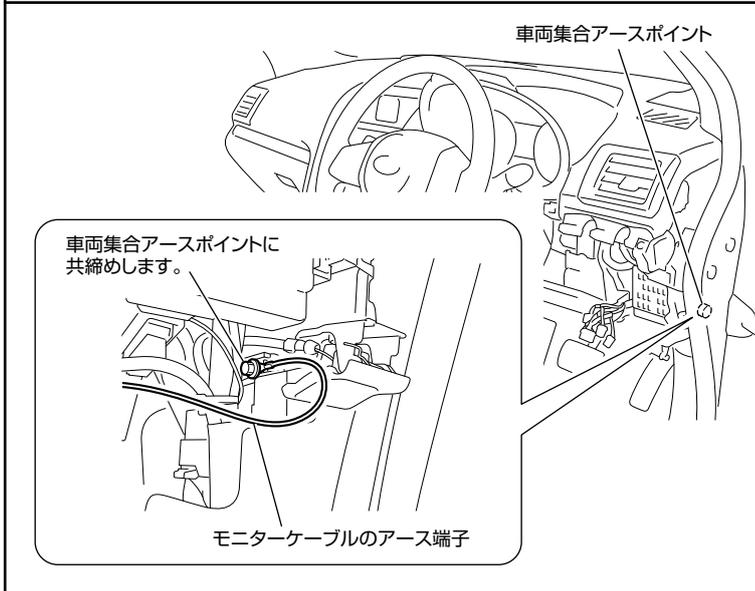
<EyeSight未装着車>





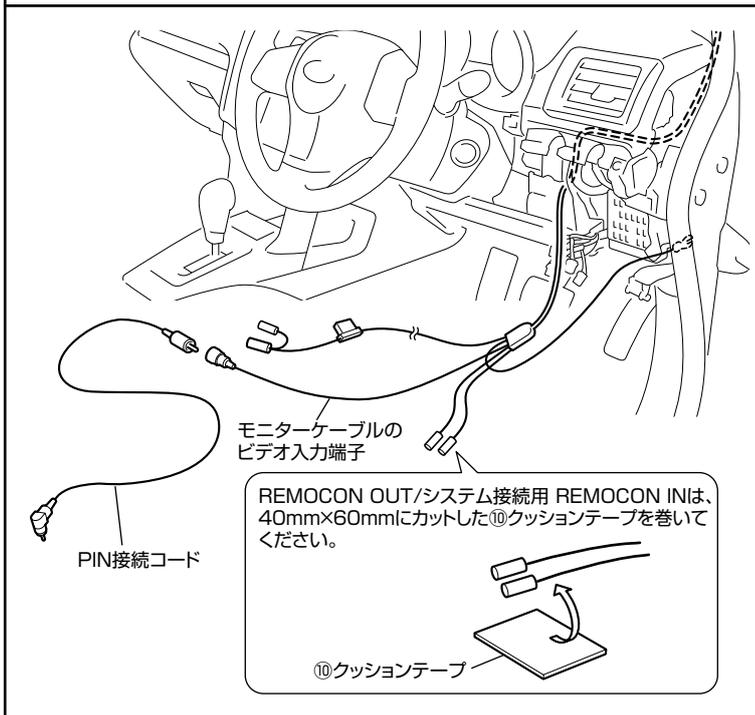
4. モニターケーブルをAピラーの車両配線に固定し、運転席足元まで配線します。

注意
 復元時のはさみ込みやエアバッグの干渉がないように配線してください。



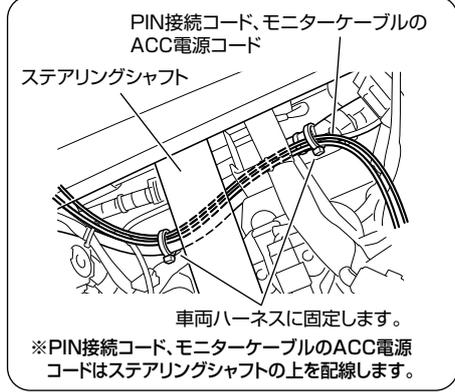
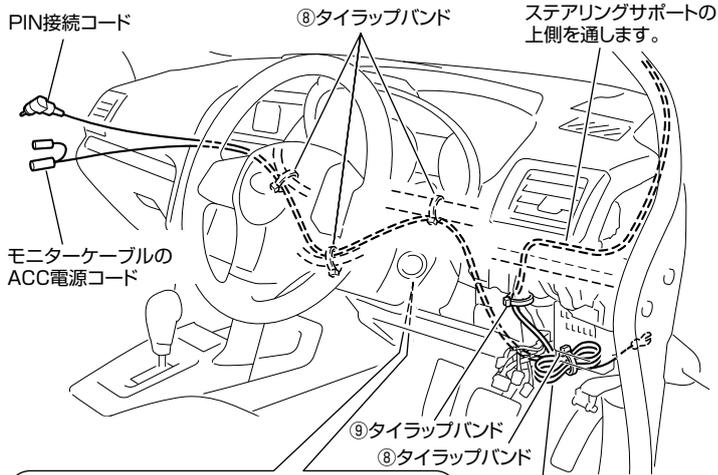
5. 運転席足元右側にあるアースポイントのボルトに、モニターケーブルのアース端子を共締めします。

注意
 確実に接続されていることをテスターで確認してください。



6. PIN接続コードをモニターケーブルのビデオ入力端子に接続します。

ポイント
 REMOCON OUT/システム接続用
 REMOCON INは⑩クッションテープを40mm×60mmの大きさにカットして巻き、収納してください。



モニターケーブル、PIN接続コードの余長を⑧タイラップバンド1本もしくは2本を連結して束ねて収納します。

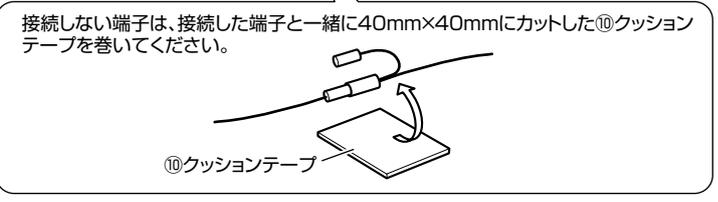
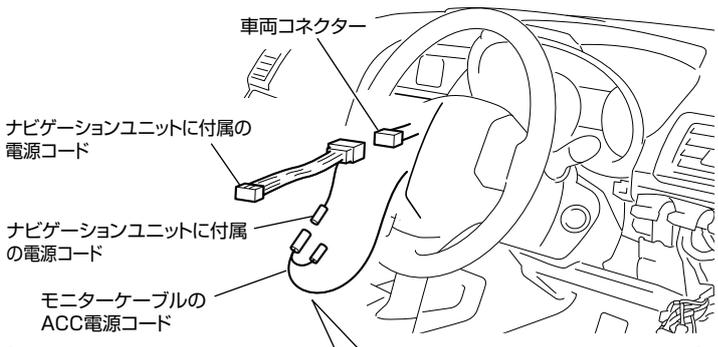
7. PIN接続コードとモニターケーブルのACC電源コードをオーディオ開口部まで配線します。

注意
ペダルなどの可動部に干渉しないように配線してください。

8. モニターケーブル、PIN接続コードの余長を束ねて、ブレーキスイッチ右側の車両ハーネスに固定します。

注意
・ペダルなどの可動部に干渉しないように配線してください。
・リレーボックスがかくれぬように余長を束ねて収納してください。

ポイント
クッションテープを巻いたREMOCON OUT/システム接続用REMOCON INも、この位置に収納してください。

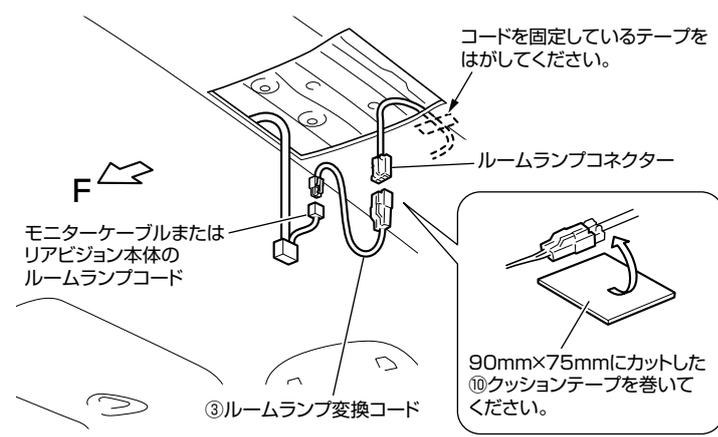


9. ナビゲーションユニットに付属の電源コードに接続します。

10. 配線図を参照し、モニターケーブルのACC電源コードとナビゲーションユニットに付属の電源コードを接続します。

ポイント
接続しない端子は⑩クッションテープを40mm×40mmの大きさにカットして巻き、収納してください。

※ルームランプ内蔵リアビジョンの取り付け時のみ

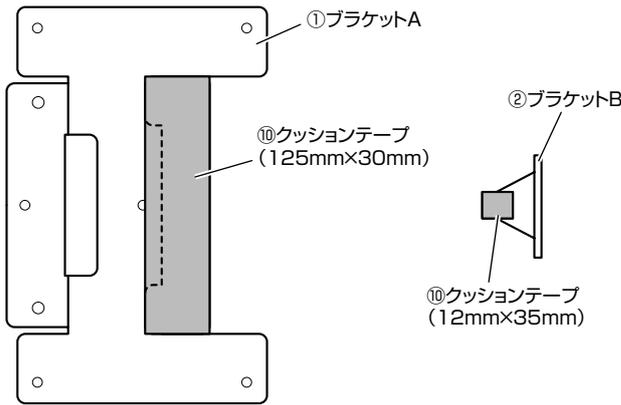


11. ③ルームランプ変換コードを車両側のルームランプコネクタに接続します。

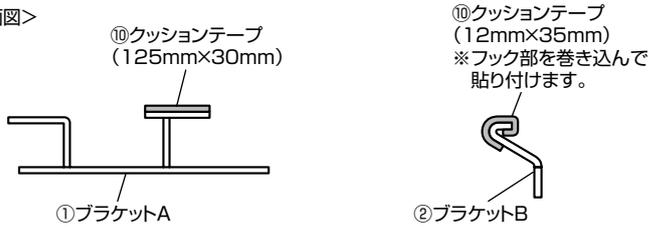
12. ③ルームランプ変換コードをモニターケーブルまたはリアビジョン本体のルームランプコードに接続します。

リアビジョンの取り付け

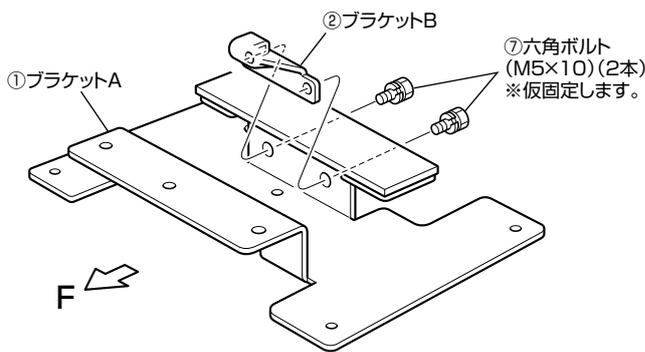
<ルーフフレーム側>



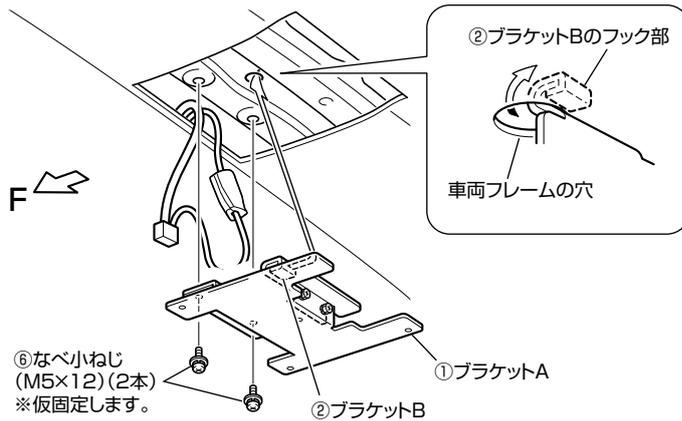
<側面図>



1. カットした⑩クッションテープをブラケットに貼り付けます。



2. ①ブラケットAに⑦六角ボルト (M5×10) 2本で②ブラケットBを仮固定します。



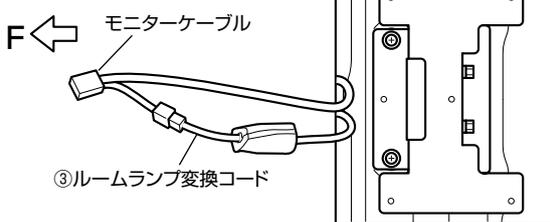
3. ②ブラケットBのフック部を車両フレームの穴に引っ掛けます。

4. ①ブラケットAを⑥なべ小ねじ (M5×12) 2本で仮固定します。
(各ケーブルは左図の位置を通してください。)

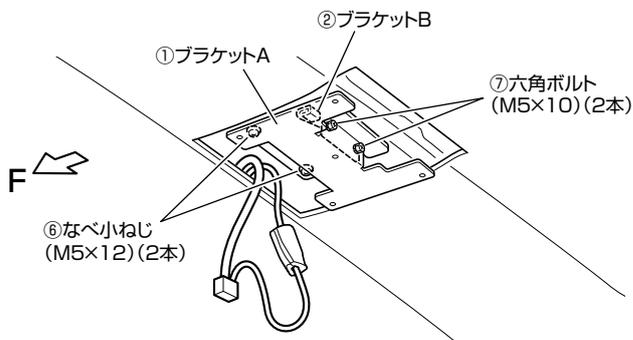
⚠ 注意

- 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
- ①ブラケットAの前後を間違えないようにしてください。
- ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

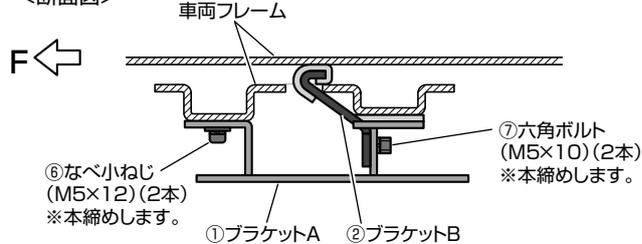
<各ケーブル配線通し位置>



<下から見た図>



<断面図>



5. ①ブラケットAを仮止めした⑥なべ小ねじ (M5×12) を本締めします。

注意

- 電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

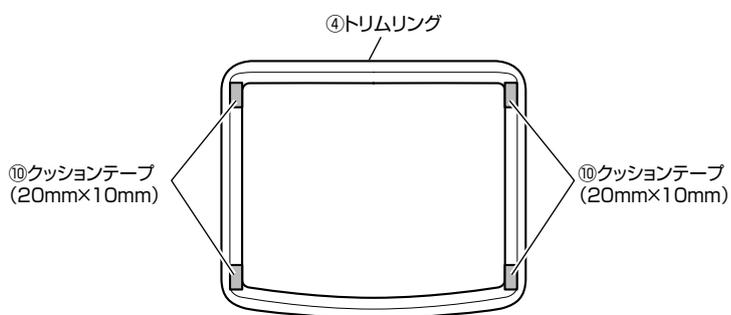
ポイント

⑥なべ小ねじ (M5×12) は「4.0N・m」で締め付けてください。

6. ②ブラケットBを仮止めした⑦六角ボルト (M5×10) を本締めします。

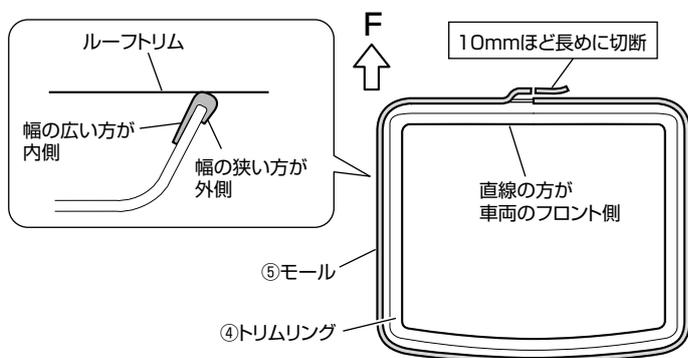
ポイント

⑦六角ボルト (M5×10) は「4.0N・m」で締め付けてください。



<リアビジョン本体取り付け側>

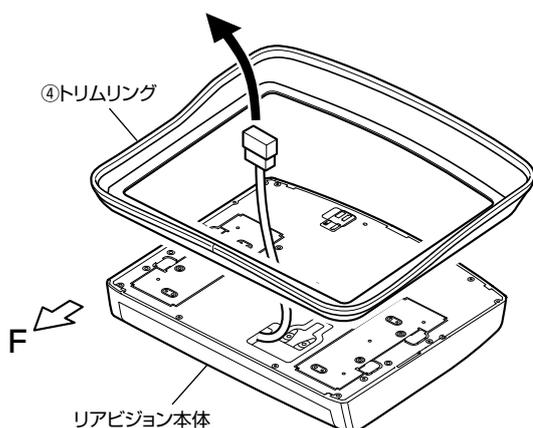
7. カットした⑩クッションテープを④トリムリングに貼り付けます。



8. ④トリムリングに⑤モールをはめ込みます。

ポイント

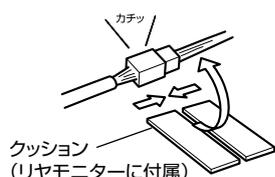
車両のフロント側に切れ目がくるようにしてください。



9. リアビジョン本体に④トリムリングを取り付けます。

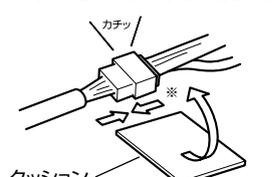
⑫スペーサー(2枚)を
①ブラケットAに重ねて貼ります。
※ねじ穴が隠れないように
注意してください。

③ルームランプ変換コード
奥まで確実に接続してください。

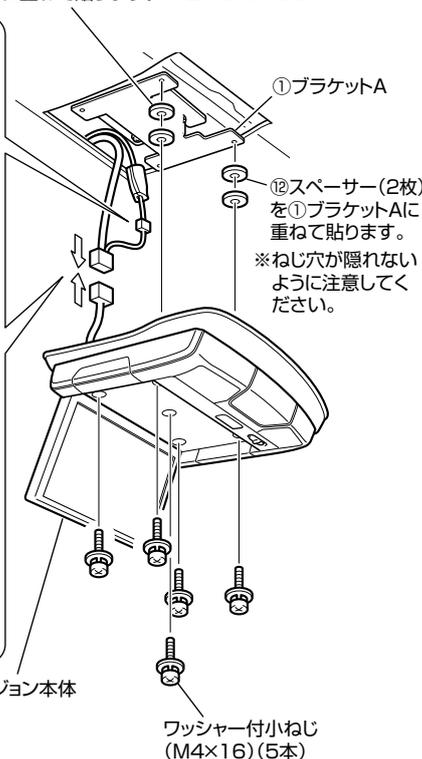


※コネクターが脱着できるように
カットしてから巻いてください。

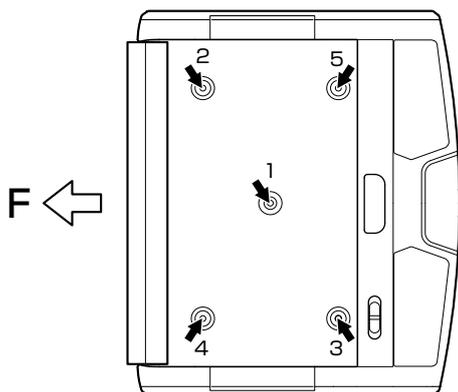
モニターケーブル
奥まで確実に接続してください。



※ロックにかからないように
コネクターの端に合わせて
巻いてください。



ねじの締め付け順

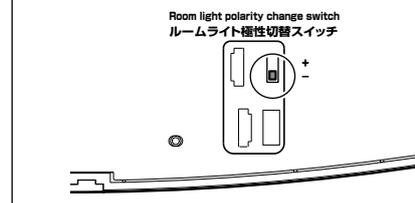


10. モニターケーブルをリアビジョン本体
に接続します。

注意

リアビジョン本体裏側にある極性
変更スイッチが(－)になっている
ことを確認してください。

〈リアビジョン本体裏側〉



ポイント

モニターケーブル、③ルームランプ変
換コードの余長は、ルーフラインニ
ング奥に収納してください。

11. 左図を参照し、①ブラケットAに⑫スペー
サーを2枚ずつ貼り付けます。
12. リアビジョン本体を①ブラケットAに固定
します。ねじを締める順番は左図を参照
してください。

アドバイス

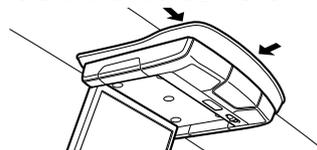
上向き作業となるため、二人作業を推
奨いたします。

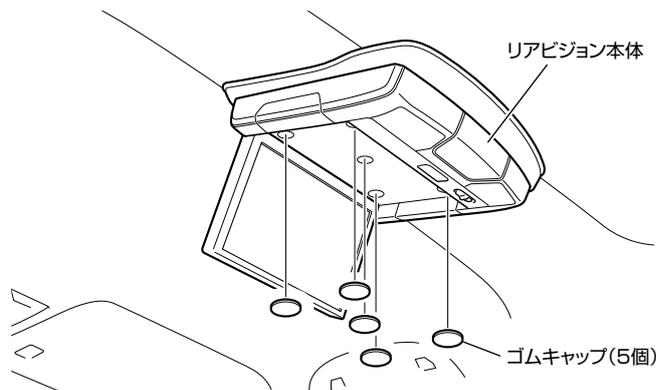
注意

- 電動ドライバーは絶対に使用しない
でください。
- ケーブル類をはさみ込まないように
してください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

ポイント

- ワッシャー付小ねじ (M4×16) は
「1.0N・m」で締め付けてください。
- ルーフトリムと④トリムリングの間に
すき間があく場合、⑫スペーサーを
2か所とも1枚ずつ減らして、すき間
があかないように調整してください。

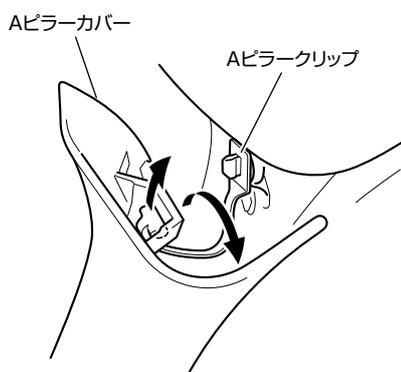




13. ゴムキャップをリアビジョン本体のねじ穴に取り付けます。

6. 取り付けが終わったら

Aピラークリップの先端をAピラーカバーの穴に引っ掛け、90°回転させて取り付けます。



1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。Aピラーは左図を参照して、復元してください。

⚠ 注意

- Aピラークリップを車両から取り外した場合や傷が付いた場合は、必ず新品のクリップに交換してください。
- ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。
- EyeSightカバーを復元する際は、カメラレンズへの干渉を防ぐため、マスキングテープなどの粘着力の弱い保護テープを貼り付けてから作業を行ってください。また、コード類がかみ込んだりしないようにしてください。

2. バッテリーのマイナス側ケーブルを接続してください。
3. 電気まわりの点検およびラジオの選局、時計の時刻合わせをおこなってください。
4. 配線および接続を確認した後、車両部品およびリアビジョンの動作確認をおこなってください。
5. リモコンでリアビジョンの電源が入ることを確認してください。

- EyeSight装着車は下記点検もおこなってください。
- カメラレンズ部に指紋などがついていないことを目視にて確認してください。(懐中電灯などで照らすと見えます)
- EyeSightカバーについているスイッチ類の機能確認をおこなってください。(各スイッチによる機能のON/OFFはメーターで確認できます)
- E/G RUN数秒後、メーター内のEyeSight警告灯、EyeSight一時停止表示灯が消えていることを確認してください。